

第 2 号 恵那南地区中学校あり方検討委員会だより

http://www.city.ena.lg.jp/shisei/administration/committee/enaminami_arikata/

平成26年9月15日発行
恵那市教育委員会 学校再編対策室

《ここまでの流れ》

- ◇平成26年度 ー 恵那南地区（岩村・山岡・明智・串原・上矢作）中学校あり方検討委員会設置
- ◇平成26年6月 6日(金) ー 第1回委員会 [委員会発足・委員への提言依頼] 岩村振興事務所
- ◇平成26年7月15日(火) ー 第2回委員会 [現地視察(串原小中・恵那西中・上矢作中)] 各校

※この「たより」は、あり方検討委員会の動きをみなさんに広くお知らせしていくものです。

第3回あり方検討委員会

平成26年8月26日(火)

岩村振興事務所

◇議題

- 開会のあいさつ
- 報告事項（委員の追加・「たより」の発行）
- 恵那市の中学校の適正規模のあり方について
- 地域ごとでのワーキング
- その他

◇第3回の概要について

7月15日(火)の現地視察に参加した委員から感想や意見を報告してもらい、恵那市の現在の教育現場に対する考えを各自出し合いました。ある委員は「現場を見て考えが変わった」と感想を発表し、参加できなかった委員も実際の学校現場の雰囲気を知ることができました。

そして、このあり方委員会が発足した経緯を確認した後、地域ごとに集まり「恵那南地区中学校のあり方」についてワーキングを行いました。

今回、各地域で出し合った意見については、次回
のあり方検討委員会で引き続き検討を行います。

各地域のワーキング結果

◇ワーキングで出た意見(抜粋)

- ・地元だけの問題では無い。恵那南地区全体を考えて統合した方が良い。
- ・現学校に不自由は無く、活気もある。通学に近い学校が一番良いため、統合しないで現状のまままでいい。
- ・クラス替えができる規模の学校が必要だと思っているので統合も必要。
- ・地域の特性を活かした学校経営、教員の資質向上が課題である。
- ・現地視察でわかったが、教育環境が違いすぎるため統合した方が良い。
- ・地域と学校が離れる感じがする。地域に子どもたちがいなくなることへの不安がある。
- ・地域行事への参加や地元文化の継承が必要。
- ・統合した場合の通学時間、通学方法が心配。



【 第3回あり方検討委員会の様子 】



【 各地域のワーキングの様子 】

(第4回開催9月29日(月)午後7時30分～
岩村振興事務所 2階大会議室)